

ランドスケープデザイン

環境デザイン学科 ランドスケープデザインコース



テキスト作品科目



テキスト特別科目



スクーリング科目



必修科目



選択科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

ランドスケープデザインコース専門教育科目

STEP①

庭園実習・製図模型・製作等を通して、ランドスケープデザインの基礎を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
環境デザイン概論 [ランドスケープデザイン]	スター	S	選	1		ランドスケープデザインコースの専門演習科目(S, TW)の進め方について解説と演習を行うガイダンス授業。
デザイン基礎1 [ランドスケープデザイン]	設計製図基礎	TW	必	2		設計に必要な製図用具の使用法や描法を学び、トレースを通して基本的な製図技法を修得する。
デザイン基礎2 [ランドスケープデザイン]	植物ファイル制作	TW	必	2		庭園設計や緑地管理に取り組む基礎として、造園材料としての植物の特性を学ぶ。身近な地域で使用できる木本類や草本類を調査・スケッチし、オリジナルの植物ファイルを作成する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] I-1	ランドスケープデザインファイル	TW	必	2		造園の歴史を通して、作庭の技術や技法、作家、専門用語について学ぶ。いくつかの用語についてはスケッチを行う。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] I-2	ランドスケープデザイン表現基礎	TW	必	2		デザインワークの基礎的技術として多様な素材や空間をスケッチし、3次元表現を修得する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1	ランドスケープデザイン総説	S	必	1		コースのテキスト解説を中心にした各分野の専門家によるリレー講義と、植物同定のための基礎的な講義。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-2	日本庭園1 管理から日本庭園を学ぶ	S	必	1		日本庭園の様式と背景を理解し、その空間演出の基本を学ぶ。対面Sの実習では、管理作業による空間の変化を体感する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-3	ランドスケープデザインへの視点	S	必	1		初日は庭園管理で用いる「手ぼうき」の制作と、庭園や公園の見学を行う。二日目は植物生態実習(フィールドワーク)を行う。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-1	設計1 製図基礎	S	必	1		設計図面のスケールと実際の身体感覚を一致させることを目指し、手のひらや身長や歩幅などを用いた身体測定で実際の空間を計測し、それをもとに平面図および断面図を作成する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-2	設計2 ガーデンデザイン基礎	S	必	1		個人住宅とその庭をセットに考える空間設計を通して、ガーデンデザインの基礎的手法を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3	模型基礎	S	必	1		模型制作の基礎と空間感覚の修得を目指し、課題図面に基づいて積層模型を制作する。またAutoCADの基礎的な操作を学ぶ。

植物の生態や機能を学び、応用力を身につけていく。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
環境デザイン基礎1 (ランドスケープデザイン)	日本庭園と意匠	TW	必	2		庭園の基本的事項である立地・空間・意匠(デザイン)を検証し、文化としての作庭の意味を考察する。
環境デザイン基礎2 (ランドスケープデザイン)	大地の創出	TW	必	2		傾斜地の地形特性を読み取り、環境・眺望・地形・樹木・人との関係を考察して、模型と図面を制作する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1	住宅庭園設計	TW	必	2		個人住宅の建築と庭園の設計。テーマやコンセプトの検討を経て、計画図面を作成する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-2	街区公園リサーチ	TW	必	2		街区公園の立地特性・植栽計画などを現地調査し、公園の特性を理解する。ついで、環境に配慮したランドスケープデザインの提案を行う。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-1	プレゼンテーション基礎	S	必	1		生活圏内の庭園・都市公園を選定・取材し、その魅力を伝えるためのプレゼンテーションシートを制作する。また編集ソフト(Illustrator)の基礎的な操作を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-2	美しい大地の創出	S	必	1		積層模型の表現(各種素材表現、樹木作成など)を修得する。地形や階段・擁壁・簡単な建築物などを含めたランドスケープと地形デザインにおける模型表現を修得する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-3	日本庭園2 作庭から日本庭園を学ぶ	S	必	1		近代日本庭園を、その時代背景や作庭家の視点を通して学ぶ。対面Sでは実習を通して作庭への理解を深める。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-1	設計3 すまいと庭のデザイン	S	必	1		建築および住宅庭園のトータルデザインをテーマとして、基本的な住宅建築およびランドスケープデザインの手法を学び、平面図・立断面図・イメージスケッチなどを制作する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-2	都市と地方を結ぶ風景デザイン1	S	必	1		里地里山で現地研修し、風景の構造や特性について分析的観察を行い、里と農の風景再生のための提案を行う。あわせて野生動物の生態と保護管理を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-3	設計4 町並み景観とポケットパーク	S	必	1		公共空間と私的空间の相違点、制約と可能性について理解を深め、公共空間のプログラムとデザインの修得を目指す。

STEP③

調査から構想・設計デザインを学び、デザインのプロセスを習得。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

3年次

環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] III-1	都市のランドスケープデザイン	TW	必	2		周辺地域条件を勘案した都市公園の改善計画を提示し、平面図・断面図・模型等を制作する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] III-2	都市・地方の再生提案	TW	必	2		都市部あるいは地方において保全したい美しい風景を見い出し、現況分析・課題抽出・風景保全策の提案を行い、構想平面図を仕上げる。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-1	プレゼンテーション発展	S	必	1		風景はさまざまな要素の重ね合わせ(レイヤー)の上に成立している。それらを分析することでその風景の特長を浮き彫りにしつつ、風景の保全策などを構築する。また地理情報システム(QGIS)の基礎的な操作を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-2	日本庭園3 日本庭園から ランドスケープデザインを学ぶ	S	必	1		江戸期の宮廷庭園や大名庭園について講義で学び、それらの手法を通して現代のランドスケープデザインのあり方を考察する。対面Sでは実習を通して、伝統的管理技術や作庭手法に触れる。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-3	設計5 都市広場	S	必	1		都市の中への自然の取り込み方や、人々の交流の場づくりについて現地調査を通して学び、店舗・カフェなどを含む広場のデザインを行う。あわせて親水空間のデザインを学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-4	設計6 都市公園	S	必	1		都市公園の基本計画として公共的デザインの視点に立って現況分析を行い、コンセプトメイク・動線・ゾーニング計画・計画平面図を作成する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-5	総合的造景	S	必	1		コンセプトに基づく計画をした上でそこからイメージスケッチやパースを制作し、公園の改修計画案を完成させる。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-6	都市と地方を結ぶ風景デザイン2	S	必	1		観光や地域計画の考え方を学び、各自が想定した対象地域に対して風景再生提案を検討し、それを構想シートとしてまとめること。

STEP④

自分の感性を全開にして、社会にかかわるテーマに取り組む。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
-----	--------	-----	-----	-----	--------	------

4年次

環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] IV	卒業制作中間報告／ 卒業制作最終報告	TX	必	4		卒業制作の進行とともに課題に取り組む。 第一課題は、中間発表に向けたプレゼンパネル案を作成する。第二課題では最終発表での講評を受けて、さらなる課題の抽出と今後の制作や活動への方針を明確化する。
卒業制作		S	必	6		社会や地域の課題を捉え、それを自身が考えるランドスケープデザインによって解決することを目標に制作する。 進行は個別指導とし、それぞれの課題を教員との議論を通して深化させる。最終的な作品は、A1パネル×6枚とA1模型として仕上げる。

環境デザイン学科

 テキストレポート科目  選択科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

環境デザイン学科専門教育科目

環境デザイン学科では、コースの枠を越えて自由に選択することのできる科目群があります。

※各コースの必修科目もあります。

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
都市概論		 ※	2	有	都市は個々の建築の集積であり、個々の建築は都市を前提条件として立ち上がる。建築はつくれるもの(完全に制御し得るもの)であり、都市はできていくもの(完全に制御し得ないもの)もある。いずれにしても建築と都市とは密接な関係にあるが、この授業では、都市の側から建築を観察し、建築のこれまでの成り立ち、これからの可能性について考察する。 ※建築デザインコース必修
住宅概論		 ※	2	有	湿潤多雨、高温、残雪など気候への対応、地震への技術的対応、芸術の導入や社会・制度の変化における住宅様式の転用や変容など、第二次世界大戦後のいわゆる戦後小住宅の時代にまで綿々とつながる日本住宅の工夫と変遷を学ぶ。 ※建築デザインコース必修
建築史1(近代)		 ※	2	有	科学技術や抽象芸術の発展といった社会や文化の大きな変化が、建築にどのような影響をもたらしたか、逆に建築の大きな変化が社会や文化にどのような影響をもたらしたか、について学ぶ。また近代では、建築家が次々に新しい理念や具体的なあり方を示し、大きな役割を果たすようになった。その建築家の動向と作品の特徴を学ぶ。 ※建築デザインコース必修
建築史2(西洋)		 ※	2	有	ヨーロッパの建築の時代様式をガイドとして、古代ギリシャから19世紀までを概観する。各時代様式の特質・理論、代表的建築・建築家とそれらの変遷の過程を学ぶ。 ※建築デザインコース「建築史2」または「建築史3」を選択必修
建築史3(日本)		 ※	2	有	日本の建築と都市の歴史を通して、伝統的建築に親しみながら広く知識を得るとともに、日本列島において建築・都市がどのように成立し、時代とともに如何なる空間的・時間的変容を遂げたのかを学ぶ。 ※建築デザインコース「建築史2」または「建築史3」を選択必修
建築環境工学		 ※	2	有	建築物の光環境、日射環境、空気環境、環境音環境、熱環境、湿気環境などの基本事項を確実に理解し、建築における環境工学の課題や重要性を学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は選択必修
建築設備		 ※	2	有	建築設備に関する基礎的な原理や技術を理解し身につける。電気設備、衛生設備、空調設備の基本システムを習得し、照明・衛生器具・空調負荷の基礎を学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は選択必修
建築材料		 ※	2	有	建物がどのような材料で形づくられていて、それがどのような現象と背景を併せもつかを理解する。また、現存する建物から創意工夫や試行錯誤の歴史を読みとり、想像することを通じて未来的な建物をつくりだす力を養う。 ※建築デザインコース必修
建築生産		 ※	2	有	企画、設計、施工、保全から構成される建築生産プロセスを対象にして、その活動を構成する主体(人や組織)とその役割について学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方、受験資格を取得する方は必修

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
建築法規	◆	選※	2	有	<p>建築家は、プロジェクト・マネージャーとしての設計全般について把握しながら計画をまとめいくことが求められる。これらの設計をまとめるにあたり、建築基準法及びその関連法令がどのような形で影響を及ぼしているかについて学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方、受験資格を取得する方は必修</p>
構造力学1	◆	選※	各2	有	<p>力の基礎や力のつりあいを理解し、静定梁やトラスなどの構成部材に力が作用した場合に生じる断面力や応力度、変形などを算定するための基礎知識を学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は必修、受験資格のみを取得する方はいずれかを選択必修</p>
構造力学2	◆	選※	各2	有	<p>力の基礎や力のつりあいを理解し、静定梁やトラスなどの構成部材に力が作用した場合に生じる断面力や応力度、変形などを算定するための基礎知識を学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は必修、受験資格のみを取得する方はいずれかを選択必修</p>
造園史1(日本)	◆	選※	各2	有	<p>庭園の歴史を洋の東西にわたって概観し、日本庭園の時代別様式や西洋庭園の作庭された国ごとの立地と時代ごとの様式の成立などについて論じる。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
造園史2(西洋)	◆	選※	各2	有	<p>庭園の歴史を洋の東西にわたって概観し、日本庭園の時代別様式や西洋庭園の作庭された国ごとの立地と時代ごとの様式の成立などについて論じる。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
環境の保全と計画1	◆	選※	各2	有	<p>各地で展開される環境保全の事例を調査・分析し、取り組みに対する特徴や問題点を考察し、環境保全の進め方について学ぶ。また造園家として知っておくべき自然及び人文・社会環境について学ぶ。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
環境の保全と計画2	◆	選※	各2	有	<p>各地で展開される環境保全の事例を調査・分析し、取り組みに対する特徴や問題点を考察し、環境保全の進め方について学ぶ。また造園家として知っておくべき自然及び人文・社会環境について学ぶ。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
ランドスケープデザイン原論1	◆	選※	各2	有	<p>芸術としてのランドスケープデザインを目指すにあたって、造園家としての基本的な姿勢=心構えを自らの内に確立するために、伝統的日本庭園をはじめとした様々な造園空間が有する自然の有り様や審美性を通して自らの自然観や美意識を醸成し、ランドスケープデザインにおける創造の糧とする。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
ランドスケープデザイン原論2	◆	選※	各2	有	<p>芸術としてのランドスケープデザインを目指すにあたって、造園家としての基本的な姿勢=心構えを自らの内に確立するために、伝統的日本庭園をはじめとした様々な造園空間が有する自然の有り様や審美性を通して自らの自然観や美意識を醸成し、ランドスケープデザインにおける創造の糧とする。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
マーケティング概論	◆	選※	2	有	<p>企業のあらゆる活動に関連しているマーケット発想の基礎知識を学び、実際のマーケティングの流れや狙いを具体的に探ることで、各要素を理解する。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
プランディングデザイン論	◆	選※	2	有	<p>多様化する消費者の行動の中にあっても、輝きを放つ商品を創造し、その価値を発信し続ける企業のプランディングデザインについて実例を通して学ぶ。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
インテリア計画論1	◆	選※	各2	有	<p>インテリアの概念の発生からその変遷と確立までを検証した後、インテリア計画のプロセスを把握した上で、空間の構造、構法からインテリア空間の構成要素とその組み合わせまでを理解する。各空間における機能とインテリア計画上の要点について学び、今後の計画、設計への活用可能な知識の習得を目的とする。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
インテリア計画論2	◆	選※	各2	有	<p>インテリアの概念の発生からその変遷と確立までを検証した後、インテリア計画のプロセスを把握した上で、空間の構造、構法からインテリア空間の構成要素とその組み合わせまでを理解する。各空間における機能とインテリア計画上の要点について学び、今後の計画、設計への活用可能な知識の習得を目的とする。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
空間構成材料	◆	選※	2	有	<p>建築を構成する建築構造躯体として利用される構造材料と、建築の内部、外部を彩る内外装材について、その素材特質や安全性、さらには五感に関わる色彩やテクスチャなどの快適性などのそれぞれの特性を把握し、空間構成に使用される材料について学ぶ。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
生活空間デザイン史	◆	選※	2	有	<p>住居空間を中心とした空間デザイン及びデザイン思想の変容について理解し、空間デザインに関する諸現象、諸概念を基礎的な事柄から学び、設計活動に役立つ知識、教養を身につける。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>